

平成28年5月23日（月）、西部地域交流センター（さいとぴあ）において、第10回 西都小学校開校準備委員会を開催しました。年度が変わり、人事異動により龍委員長（前玄洋小学校校長）が異動されたため、新たな委員長を選出しました。また、これまで検討を続けてきた通学路の安全対策や校歌の進捗状況について、事務局から報告を行いました。また、校章について、デザイン作成者の源田先生（九州大学名誉教授）にお越しいただき、デザイン作成の過程や考え方等について説明をしていただきました。

新委員長決定

開校準備委員会要綱第4条2項により、委員の互選が行われ、龍委員長の後任として、新しい委員長に周船寺小学校 吉岡校長先生が選出されました。また、副委員長に玄洋小学校 川上校長先生が選出されました。

委員の皆様には、これまでも、西都小学校の開校準備あたって多くの貴重なご意見をいただきありがとうございました。いよいよ開校まで1年をきり、これからは具体的な準備のための動きが加速していくこととなります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

通学路の安全対策

新しい通学路として提案をしていた国道202号線北側歩道（徳永交差点～女原）区間内の橋梁部分（約100m）について、歩道と車道の間の植栽帯がないために、児童の飛び出しなどの危険が指摘され、安全対策について懸案となっていました。

平成28年4月に国道事務所へ安全対策について、再度相談を行い、5月に周船寺校区自治協議会 大谷善博 会長、周船寺校区徳永町内会 徳重 恵三 会長から福岡国道事務所長宛てに、安全対策として当該区間に横断防護柵の要望書を提出していただきました。国道事務所から前向きに検討していただく旨の回答をいただき、一安心したところです。これも地域の皆様のご理解とご協力のおかげです。ありがとうございます。

★しかし、安全対策工事には、予算が伴うものであり、現時点では確定ではありません。したがって、この通学路も仮の決定であり、万が一、安全対策が遅れたり、できなかった場合は再度検討することをご理解ください。

主な検討経緯

- H27.3 ワーキンググループで作成した通学路の原案を公表。委員から国道202号北側歩道を通学路にするよう提案有り
- H27.6 開校準備委員会などで通学路を確認
- H27.7 国道事務所に安全対策等の状況をヒアリング
- H28.1 徳永地域の保護者等との意見交換
- H28.3 これまでの検討状況を第9回開校準備委員会で説明



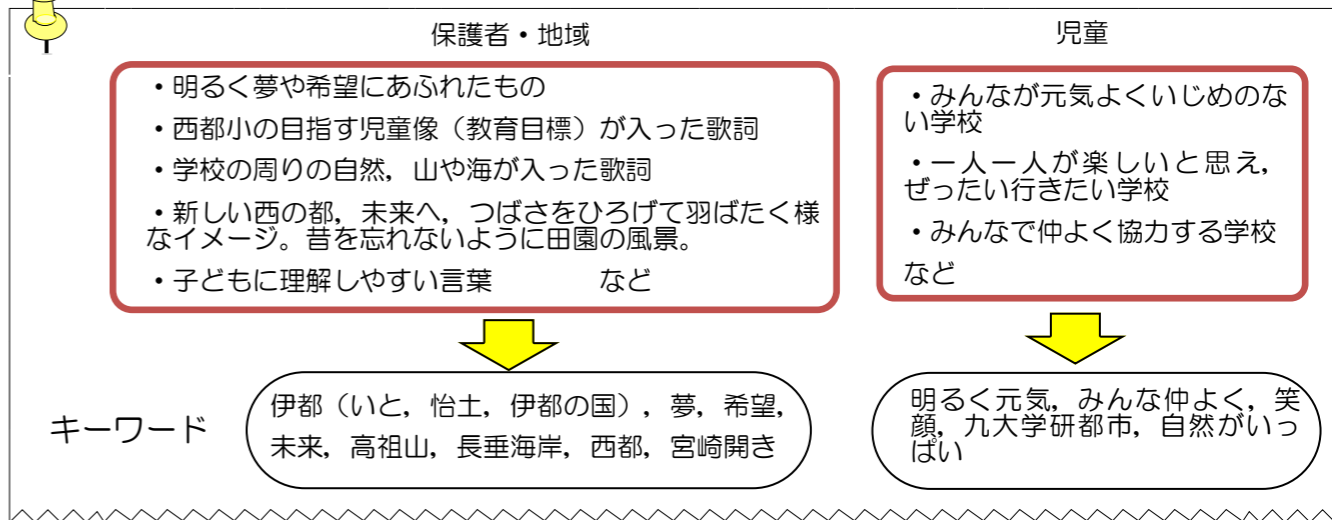
校歌について

校歌作成は、合唱作曲家の弓削田健介氏に依頼をしました。依頼に際しては、教育目標、児童、保護者、地域の方にご協力いただいたアンケート調査の結果をお渡しし、歌詞や曲調の参考にしていただくようお願いしております。弓削田先生からは、多くの皆様の期待と思いに応えることができるよう精一杯努めますとのお返事をいただいております。

弓削田健介（ゆげたけんすけ）氏

演奏活動のほか、ミュージカルやコマーシャルの楽曲を提供し、佐賀を拠点に活動中。佐賀市富士小学校校歌（作詞・作曲）他多数の合唱曲、CM曲を制作。玄洋小学校の現6年生が3年生の時に参加した西区音楽会に弓削田氏の作品を選んだのが縁で、合唱指導を受けたり、PTA講演会で講演したりするなどの交流がある。佐賀大学大学院教育研究科卒業。福岡市東区出身。1982年生まれ。

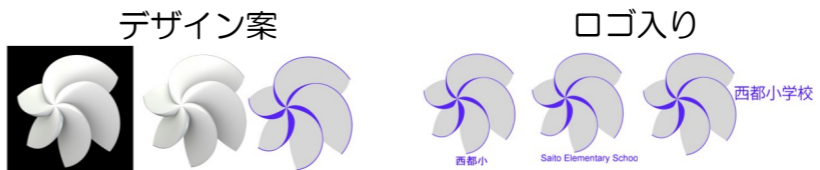
アンケート結果（155件の意見より抜粋・要約）



校章について

校章のデザインは九州大学の名誉教授 源田先生に依頼しております。その際、校歌と同じく、教育目標、アンケート調査の結果をお伝えしております。5月の開校準備委員会では、源田先生から直接、デザインについて説明をしていただきました。「科学的、明るい、未来的なイメージ」とともに「グローバル、インターナショナル」的な視点を加え、数学的にシンプルに生成できる美しい形をイメージした、ということでした。委員の方からは賛否両方の様々な意見が出され、引き続き協議していくこととなりました。

源田悦夫（げんだ えつお）氏  
九州大学 大学院 芸術工学研究院 名誉教授。メディアテクノロジーを基盤とした芸術的完成表現としてのメディア芸術、情報デザイン・デジタルアーカイブス等の教育・研究に従事。福岡県、福岡市などが主催するアジアデジタルアート大賞 FUKUOKAのマネジメントや、福岡市との産学官連携によるコンテンツ産業の振興などにも携わるなど活動は多岐にわたる。



アンケート結果（155件の意見より抜粋・要約）

